

福商会報

FUKUSYO OB COMMUNICATION MAGAZINE

発行所/社団法人 福商会 発行責任者/後藤 幹生 福岡市中央区大名1-12-57

TEL: 092-711-9890 FAX: 092-711-9266

Eメール: info@fukushokai.or.jp

<http://www.fukushokai.or.jp>

熱・意気・力

Vol. 145
(2006年5月 発行)

~吹奏楽部スプリングコンサート~ *Spring concert*



104回生

新会員312名の入会を祝う



■ 歓迎の挨拶をする後藤副理事長



■ 田中先輩から激励の挨拶



■ 段校長の挨拶



■ 新入会員を代表して挨拶する瀧本君

先輩から、歓迎の挨拶と贈ることば

**同窓生の絆の強さで
支えあう心を大切に**

福翔高校総合学科第4期生（104回生）の312名が、2月28日の午後2時から福翔高校の多目的ホールにおいて福商会入会式が開催されました。

段裕明校長はじめ担任の先生方、父母教師会役員、福商会から後藤幹生副理事長ほか体育部OB会会長らが出席しました。

後藤副理事長から「同窓生を代表して福商会入会を心から歓迎します。これからは福商会員として、母校の発展を願って一緒に頑張って支えあつていきましょう」との歓迎の挨拶がありました。段校長からは「104回生が福商会員として温かく迎えられることを、心からお祝い申し上げます。会員一人ひとりが会の発展に寄与することを期待しています」とのお祝いの言葉がありました。また、先輩を代表して田中勇（56回生）先輩から、卒業当時の思い出として、先輩との出会いによる同窓の絆の強さを感じたエピソードなどが披露され、熱心に耳を傾けていました。最後に新入会員を代表して瀧本卓哉君から「入会式を開いていただきありがとうございます。福翔同窓生としての誇りを持って、しっかりと生きていきます」との挨拶がありました。

今年も4体育部に 奨励金を寄付

2月28日の福商会入会式の前に福翔高校において、体育部4部（野球、サッカー、剣道、バスケ）トボールに体育奨励金が各部の父母会に渡されました。

学校から段校長ほか、体育部顧問の先生や父母会代表者、福商会からは後藤副理事長ほか、体育部OB会会長らが出席しました。後藤副理事長から「今年も理事会の承認を得て体育奨励金をお渡しすることができました。母校の活躍を同窓生一同心から願っています」との挨拶があり、父母会からは「期待に応えるよう頑張りたい」との力強い言葉もあり、今年の活躍に期待を寄せていました。



第3回

福商縦の糸の会開催

200名が集い同窓の絆と交流を深める

「第3回福商縦の糸の会」が2月10日午後6時から、福岡市博多区の八仙閣で約200名が参加し盛大に開かれました。当日は30回生から101回生までの同窓が一堂に集い、先輩、後輩の垣根を飛び越え、縦横の交流を深めました。第1部は福岡市議会議員の石川浩二郎氏(60回生)と南原茂氏(71回生)から、「私の議員活動報告」市議会よもやま話の演題で約1時間の講演がありました。

第2部の懇親会では米寿を迎えられる川邊清先輩(33回生)の乾杯の音頭で始まり、参加者は和気あいあいの中、同窓の思い出話に花を咲かせ、情報交換や名刺交換を行う姿が見られました。母校からは先生や父母教師会の参加もあり、先生の自己紹介を行うなど交流を深めていきました。最後は全員で校歌斉唱、応援歌を歌い、応援団OBによる福商ツールと博多手一本で会を終えました。



山口理事長の挨拶



先生方の自己紹介

盛んに賑わった会場風景



講演する石川氏



講演する南原氏

石川 浩二郎氏 講演

市議員に立ったときから3つの活動に取組んでいる。

- 1 地域のために役立つ活動
- 2 行財政改革(収入と支出のバランス)提案を積極的に行う
- 3 子供、孫の時代に誇れる環境づくりを市へ提案する

財政改革が叫ばれるなか、福岡市の財政は改善に向かっており、プライマリーバランス(公債費を除いた歳出と市債収入を除いた歳入とのバランス)を均衡させることに力を注いでいる。このため、各部署がムダな支出になっていないかチェックを行い、改善点があれば地元の意見が通るよう会派を挙げて市へ提言しています。環境問題については、これからの子供のために一人ひとりが省エネを意識して欲しい。例えばノーマイカーデー(毎月14日実施)には公共機関を利用するなど、小さなことの積み重ねを広げていきたい。私も議員になって以来、実行している。ぜひ、協力していただきたい。また、母校の発展に向けては、同窓の思いを一つにして頑張っていきたいと、新たな気持ちで取り組む意欲を滲ませていました。

南原 茂氏 講演

学生時代は陸上選手として箱根駅伝に出場するなど活躍したが、右足を切断するという大病を患った。この間、多くの人との出会いのなかで「人の温かみ」や「恩を受けた」ことから、健康者と障害者を知った自身を役立てることはできないものかとの思いが、市議員になることを決意したことなど体験を交えて話されました。

また、議員活動では1期目に子供時代に育った博多区の小学校統廃合(冷泉、奈良屋、大浜、御供所)の話が持ち上がるなかで、子供のためには少人数のクラスよりも、多くの友達と学び、遊ぶことが大切だと、博多小学校の開校に携わったこと。2期目には中洲の浄化運動として、福岡市では議員条例第1号となるピクチャラン防止条例を制定したことなど、地域の身近な問題に取り組んでいることについて熱く語ってくれました。



突然の訃報に悲しみ深く

前田福一専務理事 逝去さる



平成十八年三月二日、前田福一専務理事(55回生)の突然の訃報に接し、同窓生一同深い悲しみに包まれました。享年68歳でした(心不全)。三月四日、午前11時よりメモリアル福岡にて、厳かに葬儀が執り行われ、福商会を代表して山口毅理事長より弔辞が捧げられました。

前田専務理事を偲ぶ

第五代福商会専務理事、前田福一君の葬儀告別式が平成十八年三月四日に行われました。前田君の福商会への多大なる功績を称賛し、ここに哀悼の意を表します。

前田君との出会いは昭和二十九年四月、福岡商業高校に五十五回生として入学した時の五十二年前に遡ります。五十二年の思い出の中に三月二日、前田君の逝去の知らせを聞き、ただ愕然とするばかりでありました。思い起こせば前田君と福商会との関係は高校入学の時に始まったようです。前田君は抜群の成績で入学したと聞いていました。彼の成績であればこの高校へも入学することが出来たと、中学時代の友人から聞いたことがあります。晩年、前田君と酒を酌み交わした時に、福岡商業に入学することを決めた当時のことを、中学時代に戻ったようなすがすがしい顔で話してくれたことを思い出します。中学校卒業の時に、既に前田君は大学(早稲田大学)に進学することを心に決めていたようでありました。大学に進学すれば自分の人生目標に向けて、勉強をしっかりとしなければならぬ。そのためには大いに高校時代を楽しまたい。私が見たところ、前田君は

我武者羅に勉強しなくても一定以上の成績を修められる力量を持っていたようです。これは高校三年間に実証されました。

何か自分が満足出来るクラブ活動等をして、楽しくそれで意義ある高校生活を送る目的があったようです。クラブ活動も剣道部など、色々の部活を想像したようですが、最終的には中学時代に活躍していたバスケ部に入部しました。高校の三年間は、勉強はもちろんのこと、部活に生徒会活動に万全の力を発揮しました。バスケ部ボールでは常にチームの中心選手として、数々の大会で活躍しました。生徒会では生徒会長として、その手腕を遺憾なく発揮したことは衆目の一致するところだと思います。この頃から、前田君の中に福商会への熱い思いが芽生えていたものと思われまふ。昭和三十一年に母校を卒業後、希望の通り早稲田大学商学部に進み、見事卒業したのであります。以後、昭和三十七年自社の慶和印刷(株)に入社し、昭和四十二年には先代の後を受け、若年三十歳の若さで社長に就任しました。三十歳台の若さとは思えない洗練された仕事ぶり、はだれもが認めているところです。そのような業務繁多な中で福商会の役員として大活躍でありました。

昭和四十年から昭和五十五年までは、五十五回生の代表として理事に就任し、また五十五回同窓生の中では、常に生徒会長経験者として五十二年間、同級生を

まとめまいりました。理事就任時代には、現福商会館の建設委員会の常任委員として、若年ながらその役割を存分に果たしました。そのことは先輩の方々にも大いに認めていただいたところでもあります。同級生としては誠に誇りとするとところがあります。平成十六年六月には第五代の専務理事に就任し、前田君持ち前の力量を遺憾なく発揮して、福商会の定款を現状に即したものに改定したり、会館運営の見直し、会の財政基盤の確立、そして福商会報の充実等、短期間のうちに数々の業績を達成してくれました。一方では早稲田大学福岡福岡門会において、平成二年からは副幹事に就任し、ここでも前田君の人は余すところなく発揮されました。また福岡ベイシティ21ライオンズクラブに所属し、広く一般社会にも貢献してまいりました。多数の会員を擁する静養施設のクラブにも加入し、副理事長としてその運営に手腕を発揮し、施設の効率的活用に貢献されたと聞き及んでおります。

このように自社の仕事の繁多な中、関係する諸団体での大活躍、とりわけ社団法人福商会へは、熱き思いを込めて福商会と福岡高校の繁栄のために、心底尽くしてくれました。告別式の最後には前田君に対する感謝の念を込めて、同窓生一同で福商、福

翔の校歌「潮湧立つ玄海の…」を合唱し天国へ旅立つ前田君を見送りました。文武両道に長けた大人の風格さえあつた前田君、そして我々同級生が最も敬愛していた前田君でありました。先輩の方々からも認められていた、後輩の諸君からも慕われていた前田君の急逝は誠に残念でなりません。お聞きしたところによりますと前日まで福商会のことを案じ、そして当日まで自社の仕事につきながらのお別れであったとのことでした。いつも福商会報や福商会の広告には、慶和印刷の社名を見ることが出来、前田君の福商会における存在の大きさを、改めて知ることが出来ました。ここに第五代専務理事前田福一君の生前の功績を称え、ここに哀悼の誠を捧げます。前田家、慶和印刷(株)、福商会に天からのご加護あらんことを念じまして追悼の言葉といたします。前田君、おつかれ様でした。ありがとうございました。

五十五回生 後藤幹生

速水 晋 相談役 逝去さる

平成十八年四月四日、速水晋相談役（32回生）のご訃報に接し、同窓生一同深い悲しみに包まれました。享年90歳でした。

四月六日、午前11時より博多シティ斎場にて葬儀が営まれ、福商会を代表して山崎孝一相談役、友人を代表して橋本満先輩から弔辞が捧げられました。心からご冥福をお祈り申し上げます。



弔 辞

謹んで故速水晋先輩のご霊前にお別れの言葉を捧げます。

先輩は永い闘病生活にも拘わらず、

ご家族の暖かい看護のもと天寿を全うされました。私は先日入院された事を知り、三月二十日に病院に見舞いに伺いました。その折り、明日には退院されるとの事で、安心して帰る際に、意を正して言われた事が、四日の後にこのような先輩との最後のお別れになろうとは思いませんでした。

先輩とは出身校も福岡商業、早稲田大学と同じで、また福岡西ロータリーや福商会でも、良き先輩としてご指導頂き誠に有り難うございました。

速水先輩は昭和五十五年に福商会の専務理事に就任されました。当時、福商会は八十周年記念事業として、福商会館の建設に苦勞され、更にその運営と資金面で大変なご苦勞がありました。先輩の素晴らしい経営手腕で現在の福商会の発展の基盤を築いて戴きました。福商會會員一同深く感謝いたしております。

一方、親睦の面では中牟田会長を中心に「いざや会」、湯平の「つるや隠毛」への秋の旅行 毎週催しております木曜会の発起人などで、これは現在も皆

さん楽しく続けております。また、スペインは昔の博多の良さが残っているとの事で、毎年旅行され、スペイン在住の画家を応援され、博多で個展を開いたり、福商会館にもその画家の作品が飾られております。スペイン旅行中、フラメンコの観賞中に、日本人がいる事に気づき、声を掛けたのが早稲田の後輩で、スペインで校歌を歌った、と喜んでおられました。その後、福岡に呼んでロータリーや福商会で披露された事を思い出します。

何を申しまでも、私が今日あるのはひとえに速水先輩の深いご指導、ご鞭撻の賜ものであります。そのご恩の一端にも報いるべくこの上共努力いたしたいと存じます。

どうぞ安らかにご永眠ください。

福商會相談役 山崎孝一

合 掌

吉崎数馬理事ご逝去

平成十八年四月一日、吉崎数馬理事（43回生）がご逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。享年77歳でした。

訃報

福岡商業高等学校元教諭

榎垣 一正先生（社会科）

平成18年3月7日 83歳

昭和27年から昭和58年在職

西郷 光雄先生（商業科）

平成18年4月24日 75歳

昭和28年から平成3年在職

心からご冥福をお祈り申し上げます。

CONTENTS

- 104回生福商会入会式..... 2
- 縦の糸の会開催..... 3
- 追悼..... 4
- 理事会報告..... 6
- 同窓会報告..... 7
- 学園から..... 9
- プレイバック..... 11
- 恩師シリーズ..... 12
- 福商100年史..... 13
- 中尾坂の歌の思い出..... 14
- 同舟往來..... 15
- 随想..... 16
- トビックス..... 18
- 会報配布見直しのお知らせ..... 19
- 個人情報保護方針について..... 19
- 会費納入者一覧..... 20
- 企業紹介..... 22

臨時理事会開催

「副理事長に秋丸氏(58回生)、高木氏(60回生)、専務理事に後藤氏(55回生)選出される」

4月10日、福商会館で臨時理事会が開かれ、前田福一専務理事の死去に伴う専務理事及び空席(1名)であった副理事長の選出について議案審議を行いました。山口理事長より専務理事候補として、現副理事長の後藤幹生理事、副理事長候補として秋丸武士理事、高木不二男理事を推したい旨、提案があり全会一致で承認されました。また、相談役に上田徳蔵氏(52回生)が承認されました。



専務理事
後藤幹生氏(55回生)



副理事長
高木不二男氏(60回生)



副理事長
秋丸武士氏(58回生)

理事会報告

平成18年度母校への奨学生給付など承認される

第5回理事会開催

第5回の理事会が2月10日午後4時から八仙閣において開催されました。

理事55名(内委任状出席12名)と福岡高校宇土健治教頭にも出席していただきました。

山口毅議長から議事録署名人を指名した後、前田福一専務理事から3議案について説明があり審議を行いました。

第一号議案

平成18年度奨学生給付数について

18年度は30名(前年度25名)に給付を行いたい旨の提案があり、全会一致で承認されました。なお、内訳は各学年10名、合計30名。学業、スポーツの配分は各学年とも、学業3名、スポーツ7名、一名につき年間12万円、合計360万円を支給します。

第二号議案

母校吹奏楽部のティンパニー購入支援について

母校へのティンパニー購入支援について、新年度に寄贈を行いたい旨の提案があり、全員一致で承認されました。購入費用190万円。なお、購入費用の一部に充てるため、3月26日にチャリティコンサートを開きました。

第三号議案

福商会報回生別配布数の見直しについて

現在、一万二千部の会報を会員へ届けますが、年会費未納入者(会報送付者のうち、約75%が未納入)が依然として多いことから、配布基準を設定し、変更したい旨提案し承認されました。
*このことについての詳細は19ページに記載しています。

● 検討事項

母校のサテライト講座導入支援について
宇土教頭から学校改革として、進学クラスの設定、カリキュラムの変更など、国立を含めた大学進学者を増やしていく方針のもと、予備校サテライト講座を導入し、課外授業体制を新たに作り出し、全国レベルでの学力アップを図りたい旨の説明を受け、この導入費用について協力を仰ぎたいとの要請がありました。
理事からは「母校の発展に向けて、OBとして助成すべき」
「導入することにより、学力の底上げになるのか」
「福商会に負担をかけすぎでは」などの意見が出ました。最後に山口理事長

「さくら会」へのお誘い

福商コミュニティールーム～女性の会～

「さくら会」の名称は、福商(福翔)高校の校章にちなんで名づけました。「さくら会」は福商会のサポートなどを中心に活動しています。活動で得た収益金は、福商会の奨学育英基金への収益として、母校への奨学生などにひろく活かしていきます。

また、毎年行われる全国合同同窓大会に、より多くの女性の参加を呼びかけ、女性同士の交流・親睦会の開催等、目的意識をもって活動していきたいと思えます。交流を深める場として、第1回のイベント「さくら会・バザー」を福商会館2階をフルに使用して開催致します。展示品・協賛物品、ボランティアのお手伝いできる方々を広く呼びかけています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さくら会 会合予定日 7月19日(水)19時から 福商会館2階 会議室
9月20日(水)19時から 福商会館2階 会議室

「さくら会・バザー」日時 10月29日(日)11時から15時まで
展示 新品いろいろ ※喫茶コーナーもあります「さくら会」有志一同

お問い合わせ 福商会 事務局まで 電話 092-711-9890
info@fukushokai.or.jp

● 報告事項

- 1 収支状況(4月～1月)について
 - 2 会館の水道管取り替え工事について
 - 3 テナント店の代表者変更について
 - 4 年会費回生別納入状況(4月～1月)について
- から「母校を昔の誇りある学校に取り戻していきたい。学校も熱意を持って取り組むとのことであり、支援について賛成願いたい」と訴え、賛成多数で助成することが決定しました。

35回生(昭和13年卒)同窓会

毎年2月11日に35回生の同窓会を行って参りましたが、今年は7名の出席者を得て開催されました。
高齡化と共に年毎に出席者が少なくなり、今回をもって解散という苦渋の選択となりました事を、ご承諾を賜りたく宜しくお願ひします。



なお解散後も従来通り各位間の更なる親交と親睦の機会を得られ、一層のご自愛のうえ、交流を続けられる様にお願ひ致します。

莊山雅敏

38回生(昭和16年卒)同窓会

平成17年は、地震で同窓生2名は被災のため開催を見送り、本年はなんととしてもと、3月25日(土)ウエル大濠荘において開催。連絡先の確認出来る69名に案内。(出席13・欠席の返事39・物故4・返事なし13)欠席者のコメントには本人や奥さんの体調不良が多い。当番幹事から現況説明を含む挨拶の後、福岡会川瀧事務長から福岡会の現状を含む挨拶を頂き乾杯。カラオケも出たが、宴たけなわともなれば、それぞれテーブルを回りながら、何人が寄っては想い出話に花が咲き欲談尽きず、福商校歌を斉唱、万歳三唱、握手を交わしながら意義深く散会した。

出席者が少ないのは残念だが、八十を超えた者の集まりでは止むを得ないのか、ご自愛のうえ、来年は繰り合わせての出席をと、切に念じている。

荒井昌夫



51回生(昭和28年卒)合同同窓会

私達51回生は平成17年11月18日(金)17時より「日立つくしクラブ」(福岡市中央区草香江)で蔵本先生、出利葉先生ご夫妻のご出席を頂き、私達43名(うち女子10名)、遠くは神奈川から大田和代(旧姓吉田)さんも出席され盛大に行いました。

特に今年

は蔵本先生が喜寿を迎えられた事に全員で「おが」寿ぎ、食事よりも青春を謳歌した福商時代の想い出話に花が咲き、また川島君(4組)の博多にわかで会が一段と盛り上がり、あつという間の3時間でした。

最後に校歌や応援歌を歌い、博多手一本で同窓会を閉めました。

今年も今年。我々の年です。11月に盛大に意義ある同窓会を企画しようと思っております。

51回生の皆さん、是非出席してください。お待ちしております。

磯山嘉郎



56回生(昭和33年卒)合同同窓会

予想に反しての厳しい寒さの冬もようやく春の兆しを感じられるようになった2月25日、56回生合同同窓会をセントラルホテルフクオカにおいて開催しました。

参加者103名のほか、来賓として恩師齊藤先生、福商会より前田事務理事、川瀧事務長に参加いただきました。

はじめに35名余の物故者に対し黙禱を捧げ、会がはじまりました。

8クラスの担任の中で、ただお一人お元気で遠く群馬・高崎よりおいでいただいた齊藤幸雄先生から、当時の思い出話を聞くにおよび、青春回帰は最高潮となりました。

高校生活の三年間は、クラス担任の先生が変わらなかつたため他クラスとの交流の少ない56回生でしたが、回を重ねること、また会が進むにつれ、話は尽きず時の過ぎるのも忘れる程でした。

二年後(平成20年)は卒業50周年。

この記念すべき年に次回の開催を約し、齊藤先生にはいつまでもお元気で、また私共56回生も健康に留意し、共に卒業50周年記念同窓会に、元気で再会したいと念じ散会しました。

長谷川幸子



3年7組(62回生)同窓会

「大厄の年を皆で無事に過ごすことができました」



旧暦の大晦日にあたる1月28日(土)の夕刻、3年7組の13名が博多の若八幡に集合し、数えて61歳の大厄を無事に過ごすことが出来たお礼参りに行きました。これは昨年の大厄の年に皆でお祓いをうけお札をいただいていたので、それをお返しに行つたものです。

皆さんご存知のように、若八幡の宮司は同じ62回生の高木茂之さんです。

お参りのあとは、遅い新年会兼同窓会に移り、秋頃には一泊の同窓会を開くことも決定し、再会を約して閉会しました。

大西正則

69回生福商辰巳会結成式

1月21日(土)神屋町、永久酒店二階ラウンジにて69回生9クラス各代表が一堂に集い、念願の3年10組を結成しました。石川理事より主旨説明があり、各組持ち回り幹事の6組が、来年55歳記念学年同窓会を企画するに際しての応援や、還暦学年同窓会も意識した会にしよう、全員の賛同を得ました。卒業35周年の今年に新たな会として結束を固め乾杯しました。

善生喜利



お詫び

平成18年1月号の長澤先生「喜寿」お祝い会の記事で、93歳(38年)まで福商会会費を前納とありましたが、98歳(38年)の間違いでしたので、訂正してお詫び申し上げます。

福商軟式庭球部OB会開く

1月21日(金)、福商会館にて帆足行敏先生、福島先生、横山先生をお迎えして福商軟式庭球部OB会を開催致しました。

福商会では、スポーツ部活の強化についてOBの責任者会議を毎年行ってきましたのでテニス部も呼応して開催しました。

OB男女20名の出席で久々の集まりになりました。

また、福翔ソフトテニス部顧問である横山先生から部活の現状が報告されました。

これまでOB会が4年余にわたって休会となっていたことを反省し、40回まで続けてきたOBテニス大会を維持・発展させることが部活の活性化につながると意見が出されました。終わりに新会長として58

回生の川井静樹氏を選出し、再会を誓い合い閉会しました。

富永泰誠 (56回生)



第1回Fukusho OB発足大同窓会

昭和37年 brass バンド部が誕生し、創部44年目の今年、103回生の卒業生を含む総勢180名の参加のもと、2月26日、セントラルフクオカに一堂が集結し、第1回 brass バンドOB同窓大会が開催されました。

当日はお世話になった恩師・顧問の広瀬博一先生・西川昌宏先生・向井圭子先生・安川雅敏先生・柴田正之先生・前身の音楽部、都地義彰(44回生)・堤利春(44回生)両先輩にもご参加いただき来賓の方々と共に盛大にスタートしました。

第1期生卒業の境真澄先輩(62回生)も大分より出席され、OB会発足式と久しぶりに会う仲間達との再会を楽しみに和やかで有意義な時間を過ごしました。

今後は現役福翔 brass バンドをどのように応援・支援していくかを大きな課題としてOB一同協力することを誓い合い、各年代ブロッコにご恩師を囲み記念撮影をして閉会しました。

平田哲子(64回生)



平成18年度学校方針について

福岡市立福翔高等学校 校長 清水 昭男

福商会の皆様には
ご清祥のこととお慶び
申し上げます。平成18年度の

スタートに当たってこのたび校長として
着任いたしました清水昭男よりご挨拶
申し上げます。皆様の母校である福翔高
校に対しましては、日頃から熱い思いを
お寄せいただき温かいご支援ご協力を
賜り心より感謝申し上げます。

2000年(平成12年)に、総合学科へ
の改編という形で本校の学校改革がな
され、様々な論が闘わされたといえ、
福岡商業高等学校から福翔高等学校へ
のバトンタッチを行いました。人を大切
に育てる学校として福岡市商業学校か
ら始まった100年を超える長い時間の
営みを、長いけれども緩やかな坂をゆっ
くりしかし確実に昇り続けていること
たとえらるとしたら、その途中には平坦な
道もあつたでしょうし、時折「ごぶし」のよ
うな急坂を登つて降りるといふところも
あつたと思います。そして、今という時は
我々の目の前に急峻な坂が立ちはだかつ
ているように思います。

そこで、福岡市商業学校および福岡商
業高等学校のDNAを受け継ぐ福翔高
校として、更に数段上に飛躍発展させる

べく前任の段裕明校長が策を講じていま
す。後任校長としてこれらの策を継承し、
百年を超える歴史の中で本校の校風と
して伝えられている精神を、「自らを動
かし、社会を創る力となる」ように自己
実現と社会貢献の一致を目標にするこ
とと理解して、次のような取り組みを
現させ充実させることに力を注ぎ、行く
手の急峻な坂を登り切ることを当面の
目標として精進致します。

学校の教育目標と教育方針にこれら
のことを謳つた上で、本年度に重点を置
く具体的な事項を以下に述べます。

一 入学する生徒の目的意識をより明確
にさせ、進路希望に応じたクラス編成
を行うことで進路実現を図る。

(1) 就職クラス、進学クラス、特別進学
クラスを設け、各クラスに応じたホ
ームルーム指導で生徒に進路実現
の動機付けを行う。

(2) 従来全クラス同一であった教育力
リキウムを、コース毎に特色化
する。

二 教職員の意識を更に高めるため、授
業・補習・進路指導に刺激と改善を加
える。

(1) 授業の質を高める。教師自身の目標

設定とその管理・評価を始め、校長・
教頭の観察と指導も加えて、生徒の
活動を高め保障する授業を行う。

(2) 従来、各教科の教員に任せていた
補習実施を、学校の意志として行う。

(3) 福商会からご支援頂いたお陰で実
施が可能になった駿台予備校のサ
テライト講座を開講し、充実させる。
これは、生徒によい効果をもたらし、
教師に対してもよい刺激となる。

三 その他、生活指導においては、基本的
生活習慣の確立を図りつつ、生徒会活
動など自主自治活動を促して自己実
現と社会貢献の地下作りを行い、広報
活動や開かれた学校づくりの一環と
して、父母教師会・同窓会定例会議、オ
ープンスクール、中学校・学習塾等への
訪問などに力を入れます。

今後とも福商会の皆様のご理解とご支
援を切にお願いいたしましてご挨拶と
いたします。

体育部・文化部の主な成績

平成17年12月～平成18年3月

体育部

バスケット部

【新人県大会 男子】

1 回戦 福翔71-59 稲築志耕館

2 回戦 福翔82-68 戸畑

3 回戦 福翔75-65 中村山陽

【新人県大会(決勝リーグ)】

福翔59-96 福岡第一

福翔51-108 福大大濠

福翔65-103 宗像 (第4位)

野球部

【春季高校野球大会 県南部予選】

1 回戦 福翔5-6 黒木

アイススケート

【氷都とまごまい団体 ショートトラック】

少年男子5000m2位 1000m2位

三浦 裕

文化部

演劇部

【第46回 高文連総合文化祭】

演劇部門 最優秀賞 受賞(文部科学大臣 奨励賞)

創作脚本賞 藤井 絵里

8月全国高文連総合文化祭演劇部門出場

簿記部

【簿記新人戦県大会】 野原 亜裕未 第3位

英会話部

【第31回 英語弁論大会】

優秀賞 島田 恵

ニユージランド・オークランド賞受賞

放送部

【第27回九州高校放送コンテストアナウンス部門】

加古 大地 準決勝敗退

ラジオ部門

川本 沙織 準決勝敗退

山本 摩耶 準決勝敗退

濱崎あかね 準決勝敗退

【平成18年度全国高校総合文化祭】
加古 大地 アナウンス部門出場決定

サテライト講座導入支援 として母校へ寄付

「課外授業の強化のため
駿台予備校とオンライン化」

4月26日、山口理事長らが母校福翔高校を訪れ、5月から駿台予備校とオンラインを結び、課外授業の強化として「サテライト講座」を開講し、その設備費(約600万円)の50%について福商会も支援することになり贈呈式が行われました。この導入は公立高校では珍しく、これまでの学校との話し合いのなかで実現したものです。

昨年度から国公立大学や難関私立大学の合格者を増加させることを学校方針として掲げており、全科目目において全国レベルの学力をつけさせるものです。



前田専務理事ら福岡市 教育委員会を訪問

「母校の教育取り組みについて
話し合い」

前田福一専務理事ほか5名は2月2日、福岡市教育委員会を訪れ、本多常忠高等学校教育活性化担当課長らと母校の教育取り組みについて話し合いを行いました。カリキュラムの変更や補習授業の強化など、積極的に取り組んでいる母校の現状について

同窓OBとしての立場から、偏差値の現状や大学進学者の推移などを説明し、これからの教育上の課題、活性化について確認、要望を行いました。

「第二回福翔杯中学校ソフト テニス研修大会」開催

去る平成17年12月27日(火)、福岡県春日公園庭球場において、第1回「福翔杯」中学生女子ソフトテニス研修大会を実施いたしました。ソフトテニス部OB会の協力をいただき、開催することができるようになりました。地元南区や那珂川町の中学校のほか、筑紫地区や城南区、中央区の新人戦上位校など、全24校の参加を得て、第1回大会としては盛大なものになりました。本大会は福翔高校ソフトテニス部のPRと地元中学校の競技レベルの向上を目的として開催したものです。第1回大会は当仁中が見事優勝し、優勝カップを手に入れました。実際に参加していただいた学校以外にも、参加したいと申し出をいただきましたが、コートの面数の制限で止むを得ずお断りするほどの反響で、本年度以降も盛大に開催したいと考えております。



福翔高校・人事異動

平成18年4月1日付

転出

●福岡西陵高校へ

段 裕明 校長先生
在籍期間/2年間

●福岡女子高校へ

谷川 秀水 教頭先生
在籍期間/3年間

●中央区保健福祉センターへ

溝上 末広 事務長
在籍期間/3年間

●福岡女子商業高校へ

吉村 佳則 先生
在籍期間/24年間(国語科)

●福岡女子高校へ

竹田 孝 先生
在籍期間/22年間(保健体育科)

●博多工業高校へ

南 美加 先生
在籍期間/13年間(英語科)

●博多工業高校へ

田代 修司 先生
在籍期間/3年間(公民科)

●板付中学校へ

三上 真 先生
在籍期間/1年間(技術吏員)

転入

●福岡女子高校から

清水 昭男 校長先生
「博多工業高校から」

●福岡市水道サービス公社から

中山 哲紀 教頭先生
「福岡市水道サービス公社から」

●福岡西陵高校から

山田 里士 事務長
「福岡西陵高校から」

●福岡講倫館高校から

大塚 美穂 先生 (英語科)
「福岡講倫館高校から」

●福岡女子商業高校から

岸原 貞弘 先生 (商業科)
「福岡女子商業高校から」

●福岡女子商業高校から

前田 知子 先生 (国語科)
「福岡女子商業高校から」

●新規採用

兼松 建二郎 先生 (地理歴史科)

木村 太輔 先生 (英語科)

三代 直也 先生 (技術吏員)





福商と卓球と私

平松 秀敏 (66回生)

Playback

青春 プレイバック ⑤

福商と私の出会いは、子供の頃の話である。私は、聖柏校舎の近くに住んでいて、そこは、当時の遊び場の一つであった。その頃、まわりは、空港まで田畑が続き、今では考えられない程の田舎の風景であった。中学で卓球を始めた時に、福商卓球部に練習に訪れたのが、福商高校に進むキッカケとなった。

入学は野多目に移転した次の年で、確か初めての入学生だったと記憶している。その新校舎の素晴らしさに感激し、これからの高校生活に、大いに希望を持った次第である。

しかし、現実は厳しかった。クラブに、勉強に、辛い毎日で、一年生の時の思い出は、『キツイ』の一言であった。おおよそトレー

ニングというものをした事のない私にとって、根性という名のもとに、先輩諸氏に鍛えられる(少しシメ?)毎日であったが、それが、現在も選手として活躍できる基になっているのだから、今にして思えば、有り難い日々であった。感謝。

卓球の成績は、団体戦では、2年、3年の時に全国大会に手が届くチームであったが、不運にも代表にはなれなかった。残念だったが、それが高校生活の一番の思い出である。個人戦では、全日本選手権大会ジュニアの部とインターハイに、シングルス、ダブルスともに出場したが、散々な結果であった。しかし、それがその後の卓球人生の大きな力となり、現在も現役選手として、頑張っている。

高校卒業後、社会人になっても、土日は福商卓球部に通い、多くの後輩たちと、卓球を通して係わり合いを持った。卒業しても、3年は学



■ 昭和42年頃の卓球部

校に通え。これが伝統だ!という先輩の教えに従い、10年通った。卓球部は、OB会があり、恩師の加藤先生を囲んでの親睦会が、年に一度、今も続いている。これは、私の一番の自慢で、卒業以来参加を続けている。また、先生の退職を記念して開いた「パーティー」と「我が青春のスマッシュ」という卓球部の歴史とも言える本を作成したのも、楽しい思い出となった。

私は、福商高校が大好きである。クラブを学校に通っていたようなものであるが、スマッシュ、体育祭、文化祭、クッス対抗駅伝大会と、数々の素晴らしい思い出がある。

先輩諸氏に伝えたいのは、「青春を頑張れ!」という事だ。「熱意・気力」の校風をいつまでも忘れない自分でありたいし、皆にそつであった欲しいと思うこの頃である。

最後に「福商高校」と名前を変えても、母校が益々の発展を遂げる事を、心より願っている。

第56回「福商会全国合同同窓大会」開催のご案内

日時 平成18年6月4日(日)

- 第一部 式典(3階芙蓉の間) 午後3時30分~4時30分
- 第二部 懇親会(4階鶴の間) 午後5時~7時

会場 ホテルニューオータニ博多

福岡市中央区渡辺通り1丁目1-2 TEL092-714-1111

● 会費 6,000円

お問い合わせは福商会事務局まで TEL 092-711-9890

四十年昔の回想

元福岡商業高校教諭
(昭和27年～58年在職)
川勝 建太郎

「ソフトボール部のいとし」

ソフトボール部誕生

私は今年84歳になります。九大工学部で学び戦後数年、米占領軍で働いた後、釜山の小学校時代からの友人である広瀬博一先生のお世話により、福商で英語を教えることになりました。退職後の講師の期間を含めると、福商で45年も勤めたことになりました。

着任後しばらくして、ある先生から「ソフトボール部を創るのを手伝ってほしいか」との話があり承知したのが始まりで、縁あって30年ちかく定年退職時まで顧問をさせていただいた次第です。同好会が部として認められた時の嬉しかったことは今でもはっきり覚えていますが、毎日、バッテリーングピッチャーとノッカーの仕事が続き、バットを握るのも初めてという生徒もいて指導に苦労しましたが、またそれが楽しみでもありました。

新参福商奇跡の勝利

今でも鮮明に思い出すのは昭和44年の夏です。当時、県では精華、杉森、美萩女子高校など私立高校が優勝を争い、公立高校とは格段の実力差があった時代でした。この年福商は、投手に吉田潮美君、捕手

に吉田美智子君を中心にとまとまったチームが出来上がり、県大会で前年度インターハイ優勝の杉森を2対1で破ったのです。その年の全国大会連続優勝を夢見ていたチームの落胆ぶりは、同情の念が湧くほどでした……。予定外の勝利で翌日の試合のため、急ぎよ夕暮れの久留米で宿探しをし、冷房もない大部屋で主将の吉田君は、扇風機を振り回して皆を覆付かしたものでした。投手は牧山、吉田、新村、山崎、立石、白石、花田、城下君などいい選手を輩出しました。



写真中央川勝先生、その左安河内先生(昭和43年度のチーム)

三年前の出来事

私事で恐縮ですが、長い人生にはこのような偶然な出来事も有りうるという挿話を披露させて下さい。昔福商で英語を教えていたからこそここ起こったことです。

三年前のある日、突然アメリカから電話がありました。何事かと思いましたが、それは昔、福商と一緒に英語を教えていたハイロン・ラツセル氏からの電話でした。学校で最初に会った時彼は二十歳台だったようです。たまたま趣味が同じ囲碁でして、二人とも非常勤講師でしたので、放課後学校であるいは拙宅でたびたび対局したものでした。

電話の内容は私の老後にこの上ない生き甲斐を与えてくれたものでした。それは、インターネットで暮を楽しまないかとの話でした。その時以来彼の手ほどきで、在宅のまま毎日世界各国の人々と対局することになりました。不思議なことに、彼とはその後一度の対局も、メールのやり取りも無いのです。私の胸中には、**思いつき、好意、親切、友情**といった言葉が浮かんだり消えたりしています。

ソフトボール、囲碁だけでなく、思えば今ある総てのことが、福商、その先生達、卒業生の皆さんとの繋がりの上に在るとの思いを深くしているこの頃です。最後に福商に関係のある総ての人のご多幸をお祈り申し上げます。

川勝先生の思い出

3年前に福商ソフト部OB会を発足し、現在毎年11月23日(祝日)に現役との交流戦を、年に一度昔をなつかしみ、福商のグラウンドでボールとたわむれています。

このOB会の発足のきっかけは、卒業後川勝先生との出会いがない人もあり、「先生、元気かいな」、「今いくつになられたのかな」などの声をあちこちで耳にし、そこで私がまとめ役として、天神テララで約70人のOBを集め、楽しい時間を過ごしました。

これも先生が熱心で温厚であり、上下関係の厳しさが他の部ほどでなく、勝負はむしろん大事ですが、それ以上に「チームワーク」をモットーにソフトを楽しんでくれたからだと思えます。

思えば、当時先生は40歳台の後半であったと思います。真夏の暑い中で、我々のために、投げて、打って、車での運搬にと一人何役もこなされていた姿が臉に浮かんできます。

先生の指導のお陰もあり、夏の県大会で、前年度全国大会優勝の杉森女子校を破った試合の感激は、我々にとって忘れられない一生の宝物になりました。

川勝先生の後、上山先生、藤江先生が監督を引き継がれ、福翔ソフト部はよい成績を残しています。OB会としてもクラブの今後益々の発展を祈っています。

福商ソフト部OB会会長
茶酒房 よしだ

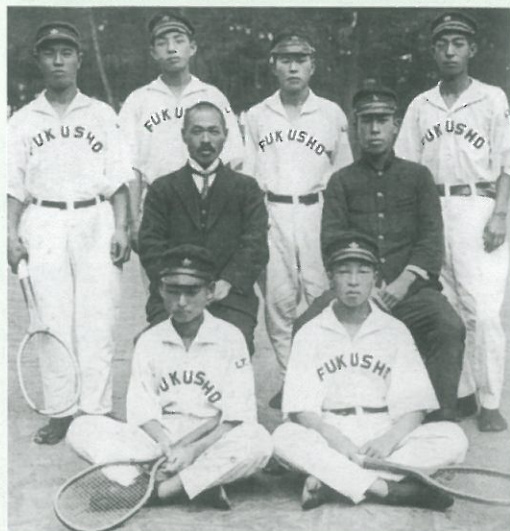
吉田 美智子(68回生)

盛り上がる部活動

(明治38年〜大正14年頃)

1905(明治38)年に運動部規則が修正され、運動部はボート、テニス、柔道、剣道、野球の5科になった。1909(明治42)年には柔道部、剣道部が京都で行われた全国青年武道大会に初めて出場し、福商健児として活躍した。

1911(明治44)年、ボート部が京都武徳会主催の全国中学校琵琶湖端艇競漕大会に初出場し、見事準優勝に輝いた。1900年に開校して以来、各運動部を通じて初めての全国大会出場での快挙だった。当時、日本海海戦記念日の5月27日に



■ 大正8年当時の庭球部(全国大会準優勝)

は箱崎浜で福岡工業、福岡師範、修猷館と福岡商業4校の対校競技が行われ、応援の生徒達はレースが始まると海に膝までつかって声援するというほど人気があった。またこの日は福岡市内の全中学校、女子学生の制服が一齐に夏服に変わる日でもあった。明治、大正期の制服は、冬は黒い詰めエリ服で短靴、スポンには海軍式の白いゲートルを着けていた。夏は純白の上下に、帽子に真っ白い覆いをかけていた。スマートな白服とゲートルは中学修猷館と同じで「西へ行くのは修猷館、東に行くのは福商生」とうたわれた。

大正時代に入り、1916(大正5)年当時の学友会には柔道部、剣道部、弓道部、野球部、テニス部、ボート部、相撲部、陸上部、講演部、文芸部と10の部活動があった。

同年に行われた極東競技九州予選大会のマラソン競走で中島保(4年生)が出場し、一般選手を相手に見事優勝している。また、福岡日日新聞社(現西日本新聞社)主催の中等学校5大競技大会(柔道、剣道、弓道、野球、庭球)において、1925(大正14)年に剣道部と弓道部が、1926年に柔道部がそれぞれ初優勝し黄金時代を築いている。テニス部

は明治末期から福岡医科大学(現九州大学医学部)主催の大会で初優勝するなど、各種対校試合でその強さを発揮していたが、大正に入ってから黄金期を迎え、1917(大正6)年から始まった福岡日日新聞社主催の二大会があったが、この両大会で毎年のように優勝か準優勝を続け「テニス王国福商」とうたわれた。

大正14年当時の剣道部(福日大会優勝)



■ 大正14年当時の剣道部(福日大会優勝)



■ 大正15年当時の柔道部(福日大会優勝)

* 57回生(昭和34年卒) 合同同窓会開催のご案内 *

- 日 時 平成18年11月17日(金) 18時~20時
- 場 所 天神テルラ 福岡市中央区渡辺通5-25-18 TEL092-733-4444
- 会 費 5000円
- 問い合わせ先 3組吉村公良理事

* 東京支部同窓会のご案内 *

- 日 時 2006年6月24日(土)午後1時
- 場 所 東海大学校友会館 東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 霞ヶ関ビル33階 TEL03-3581-0121

問い合わせ先 文京カテリーナ内 片山紀雄(59回生) TEL03-3942-2291

今も歌い継がれる「中尾坂一九七四年」

浦崎 千代始 (73 回生)
神宮 玄二郎 (73 回生)

「中尾坂」誕生秘話

この「中尾坂」を歌い継いでくれた後輩の皆さんに心から感謝しています。

今回は、そのほんのお礼の気持ちを込めて「中尾坂」という歌がどうやってできたのかを少しだけお話ししたいと思います。

1970年代、私達の学生時代は吉田拓郎、井上陽水などのフォークシンガー全盛期でした。私達もその影響を受けてギターを覚え、学校生活の一部として、教室で歌ったり学園祭で歌ったりして、大いにギターを楽しんだものです。

皆さんもご存知の通り、三年生を送る予餞会が当時の我が福商では福岡市民会館を貸し切って行われており、同級生たちも一年生の頃から自慢の歌を披露していました。その同級生の中には、井上康夫(中洲でスナック「ジョーク経営」と、山本一成(株) ゲッツブラザーズ東京)のクラス仲間もいて、二年生の時に修学旅行の思い出を込めて「修学旅行帰歌」という、ものすごくユニークなオリジナル曲を聞かせてくれました。それが一つのきっかけとなり、いつもの「中尾行き急行」メンバーで、友人でもあったバレー部でセッターの浦崎千代始とひよんなことから「俺たちも最後の予餞会やけん、なんか歌でも作って歌ってみようか」と

てなことになる、この「中尾坂」が出来上がったのです。

この歌を作る時はお互いの家を行ったりきたりして、まずメロディーを考えていきました。そして、次に中尾坂での出来事などを思い浮かべながら歌詞を考えていきました。が、そつしながら二人で大爆笑してギターを弾いていたことを懐かしく思い出します。

登場人物は全て実在？

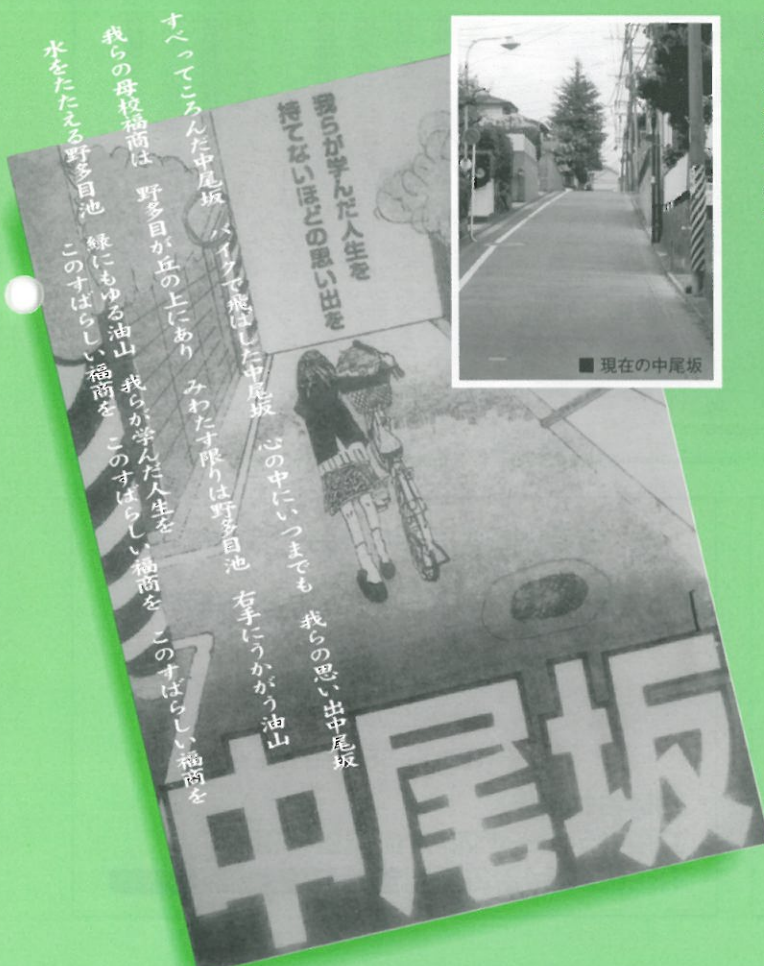
歌詞の中に出てくる個人名、「吉村のスプリンター」(日本一BM東京)は、学生のくせに中尾坂を車で久山の田舎から通学していたよか男?です。そして「くらざれた康夫くん」(前述)に、「勉強せずにつきおくん」(北海道に行ったまでは聞いている)、「トボトボ帰る青治君」(土建会社社長)のこの三人は、二年から三年になる時に進級できず、修学旅行に二回も行ったという悪童仲間です。今思えば、両親の苦労は大変だったに違いありません。そんな訳で「中尾坂」という歌は、あの市民会館での予餞会で、残念ながら一緒に卒業する事が出来なかった同級生たちへ(学年は一つ下)エールを送った歌だったのかも知れません。

1974年、私達が予餞会で歌ってから三十数年。こんな「しよつもない歌」が福商、福翔の後輩の皆さんたちに現在もお歌い継がれているなんて夢にも思いませんでした。ただ、今の中尾坂のメロディーは、私達のオリジナルとは全然違い「しよつもない歌」から「かっこいい歌」へと進化して歌い継がれています。興味のある方は、二十代の後輩を捕まえて是非一度聞かせてもらってください。今風でなかなか『かっこよかです』よ?



■ 現在の中尾坂

私達が三年間通学した中尾坂は今も現存し、福翔の生徒たちも元気に通学しています。福翔の生徒たちは、時代が変わっても中尾坂と共に、校舎と共に、仲間と共に、たくさん思い出を作っていくことでしょ?。その生徒たちがまた、思い出の「中尾坂」に新しい歌詞、新しいメロディーを作り、それぞれの時代に合った「中尾坂」が生まれていくと心から願っています。



同舟往來

中島 清君(52回生)



高校卒業後、10年間の修行を経て、昭和42年に(有)中島鍍金工業を設立した。メッキはあらゆる産業にかかわっており、特に半導体、自動車、航空機、電子部品等業界の発展に寄与している。彼の会社はキヤノン・マツダ・ホンダ自動車部品・電子部品等のメッキを行っている。

彼は温厚な人柄と、指導力が認められて、九州めつき工業組合の理事長を10年勤め現在は顧問、全国でも常任理事であった。

平成14年には業界代表としての業績に藍綬褒章を受章した。

趣味として9年前からNHKビデオクラブで勉強を始め、昨年ビデオコンテストで「懐かしき母校、古希の同窓会」が入選し、益々元氣盛ん。現在福商会の代議員でもある。

安河内 眞彦(52回生)

大崎 信昭君(56回生)



福岡の中心、天神を含む大名校区の自治協議会会長として地域の生活環境、青少年育成等の活動特に平成17年3月の福岡西方沖地震の時、自宅の後片付等は放り出し、被害の後始末に奔走しておりました。

また、保護者として罪を犯した人の出所後の相談、指導等にあたる事、特に16年になります。地域の住民の信頼も厚く、特に子供達に慕われています。家業のスナック「味稔」ではいつも元氣に迎えてくれます。福商会館の近くのため、同窓生が集まっています。一度のぞいて下さい。

平成18年4月より大名公民館館長として、益々地域の発展に寄与してくれる事を期待しております。

長谷川 幸子(56回生)

高木 直幹君(58回生)



在学中は軟式野球部で活躍。定年を機に、自慢の喉で民謡教室を開設。毎週火、水、木曜日には大勢の生徒さんと三味線を弾きながら、九州の民謡を中心に教えているようです。先日、同窓の集まりで自慢の喉を披露し、「さすが先生」と拍手喝采でした。将来は、九州各地の古い民謡の発掘に力を入れたいようです。また、広い自宅の庭では、有機栽培の野菜作りにも挑戦しているとの事。

川井 静樹(58回生)

西嶋 正伸君(61回生)



聖粕校舎最後の38年卒業生で心から涙した思いは、今も根付いています。在学年は、世栗先生の指導のもと、写真部で奥深き芸術の美を学びました。

日本古来の文化にたずさわる中、縁あって中呉服町にある創業百二十余年の「おくむら」故奥村耕作先輩(42回生)にめぐりあい入社。現在は専務取締役として優秀な人形職人達を求めて全国各地へ仕入れに奔走しています。恵比須流れて山をかき、生粋の博多弁を大切に継承し、休日には山歩き、旅行、ゴルフと忙しく、楽しく、毎日を送っています。

中村タエ子(61回生)

上田 啓蔵君(64回生)



西門かまぼこといえば、博多では知られた老舗である。上田君はそのご当主社長である。先代利一氏は、博多にわかの名手で「中洲の川」という書もある。

上田君は忙しい家業の傍ら、変わりゆく博多の将来を見据え、再興再建を誓う青年有志を束ね、はかた部ランド協議会議長を務める。毎月の勉強会をはじめ、旧はかた部のまちづくりを模索し、旧町名碑石の設置や、史蹟めぐり、灯明ウォッシング、博多つ子講座など市民講座を立ち上げ啓蒙運動などにも積極的に取り組んでいる。また、新聞はじめTV、ラジオにも出演し、時にはパネラーとして壇上に登ることもある。このように八面六臂の活動をする上田君だが、さらに博多町人文化連盟の事務局長として、ふるさと博多のために真摯に努力を重ねている。飾り気のない、気取らない彼の行動は魅力的であるが、これも熱意、意気力、福商精神に裏打ちされたものであろう。「チューリップ」のドラマス、上田雅利さんは彼の実弟である。

吉田 鷹治(42回生)

吉住 英男君(66回生)



昭和43年に卒業。在学中はサッカー部に所属し、2年生でインターハイ(青森大会)に出場したことが、サッカー人生を歩むことになった。サッカーの指導者を夢見て、福岡教育大学に進み、卒業後、福岡市内、久留米地区の中学校教諭を経て、各校の校長を歴任し、現在では牟田山中学校校長として、校長職9年目を迎えている。教諭時代はサッカーの指導と体育の授業をして生徒育成にあたり、教えた生徒のなかには、Jリーグで活躍している三浦淳宏・城彰二前園真聖選手らがいる。

また、指導者としても九州地区のトレーニングセンターで監督、コーチを経験している。

「今、自分があるのはサッカーの藤井先生受

験勉強で教わった齊藤先生(英語)、加藤先生(数学)なしには考えられない」と語ってくれた。今日も生徒の指導に忙しい日々を送っている。

古賀清美(66回生)

小林 正勝君(76回生)



高校時代は玄海町から2時間かけて野多目校舎へ通った頑張り屋だった。卒業後、家業の料亭「海宴」を引き継ぎ、絆糸曲折もあつたが、現在では御宿「はなわらび」などの代表取締役として活躍している。

また、市町村合併に伴い、宗像市の観光協会副会長として「げんちゃんあじ」や玄海とらふくブランド化推進など、「地域総勝ち」を合言葉に歴史・魚海をキーワードに、風光明媚で自然環境や人情あふれる「新生宗像市」の将来を担う人づくり、町づくりにと、地域の活性化に力を注いでいる。

長舟光之(76回生)

古賀 政之君(78回生)



応援部17代団長の古賀君は、全国合同同窓会では制服姿で演舞を行い、お馴染みの顔の熱血漢です。先輩から現役の高校生と間違われるほど、いつまでも若々しい44歳の独身です。現在、花嫁募集中で1年前にはFBSテレビじめんたいワイド「お嫁にいらっしやい」にも出演。よい人がいたら紹介してください。理美容室に材料を卸す「バランス福岡」を家族、社員5名の社長として福岡を中心に活躍。環境問題が叫ばれる中、生ゴミの処理、シックハウス対策、無農薬野菜、添加物などのイベントを企画したり、プライベートな時間は畑を耕したり、山菜やしじみ取りに、四季の恵みを感じながら忙しい日々を送っています。

無津呂 繁憲(78回生)

福商時代の思い出など

戸木田 嘉久

元立命館大学副学長(38回生)



の制服は、オーダーメイドだったかと思う。今からみれば、なかなか贅沢な話ではある。

編上靴は校内では白い運動靴にはき替えたが、上級生になってからの軍事教練の授業では、編上靴に巻脚絆(ゲートル)、三八式歩兵小銃で装備といういでたちであった。小銃は中庭の兵器庫に保管されていて、下級生は小学校とはちがう重々しい雰囲気、威圧されたものである。毎日酷使される靴底のふんばりと踵には鉄釘がうちつけられ、修理の靴職人が常駐していた。制服の新調は指定の店に頼むのだが、上級生になると規制を超える幅広のラッパズボンが流行した。全校朝礼で時々その点検がされたのも、今は懐かしい思い出である。

2 商業の実学と実技のすすめ

私は昭和12年に入学し、昭和16年に卒業した。入学した年に日中戦争が始まり、卒業した年の暮れには太平洋戦争が始まっている。堅粕校舎にも戦争の影がひろがってきてはいたが、まだ自由な校風があつて楽しい学園生活であった。思い出のおぼろな断片を拾い出してみよう。

1 オーダーメイドの編上靴と制服

もう70年も前のことだが、福商に合格しサクラの花の校章がついた制帽を手にしたときの歓びを、今も私は思い出す。また通学用の黒皮の編上靴、青い木綿サージ

ある滑りのよい五つ玉のそろばんが必修であった。速記部にも入って少しは放課後の練習にも参加した。そのころの速記部は、中根式速記の全国大会で優勝するほどの実力だったが、私はどうやら速記ができる程度にとどまった。それでも、それ以後の学生生活、社会生活を通して、速記はけっこう役に立った。

3 強まる戦時色と自由な校風

私たちが入学したころ、福商の卒業修学旅行には満州・朝鮮と上海・南京の両コースがあると聞いており、この初めての海外旅行を楽しみにしていた。だが、昭和13年の満鮮修学旅行が最後となり、翌年からは国内旅行になった。そして、この年には学徒勤労動員、米の配給統制などもはじまっている。こうして戦時色が強まってきてはいたが、福商のキャンパス内にはまだまだ自由な校風がみられた。淡谷のリ子の「別のブルース」「雨のブルース」が流行し、エノケンの「チャッキリ金太」「近藤勇」といった映画、小説では石坂洋次郎の「若い人」、パールバックの「大地」が話題にもなった。芥川龍之介の「河童」、漱石の「坊ちゃん」「三四郎」、ドストエフスキーの「貧しき人々」「罪と罰」、ゴーゴリの「外套」「検察官」、ゴッリの「どん底」、モーパッサンの短編や「女の一生」など、文庫本をポケットに入れた生徒も少なくなかった。私は、文芸部にも属し文学を愛し、俳句を詠む友人たちと、

先生に教えられながら「校友会誌」の編集に参加した。同73号(昭和14年)に「九州九ヶ国絵図(家蔵)の解説」、同74号(昭和15年)には、「九住紀行」という文章を載せている。

4 福商時代その後

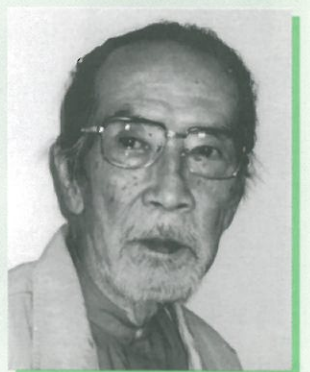
私は昭和16年3月、福商時代を終わり福岡高商に進学、同18年9月、半年の戦時練り上げて卒業、1年間の就職を経て19年10月、九州帝大法文学部経済科に入学。同時に現役召集で入隊した。昭和20年9月、敗戦で兵役が解除されて九大に復学、同22年9月にまたまた実在籍2年、要卒単位削減の特別措置で早々に卒業した。その後、九州経済調査協会を経て九州産業労働科学研究所の事務局長に転出、九州・山口の炭鉱・工業地帯をホームグラウンドにして、労働経済調査を専業とした。昭和37年4月、立命館大学経済学部教授として赴任、現在同大学名誉教授。

戦後の約60年間、私はひたすら経済学と労働問題の調査、研究に従事してきたが、そこでの強みの一つは商業の実学に支えられてきたことであろう。いま教育の荒廃にたいして「読み、書き、そろばん」、いわゆる基礎教育の徹底が提起されているが、実学もまた改めて再評価されるべきではないだろうか。

俳句の筋金

非戦でも反戦でもなく

2006年2月19日・朝刊 西日本新聞より



作家 俳人
 眞鍋 呉夫氏(34回生)
 1920年、福岡県岡垣生まれ。
 文芸誌「こころ」創刊に参加。
 代表作に「サフォア追慕」「評伝権雄」
 など。句集に「雪女」。
 東京都在住

戦後六十年。イラクに自衛隊が派遣され、憲法九条改悪の動きが目立つ現代にとって、俳句とはいったい何か。

かつて、山本健吉は俳句の特殊性を、「滑稽・挨拶・即興」という三つの命題に集約したが、これらを深く掘り下げていけば、やはり孤独ではなく、愚かで滑稽なわれわれ人間という存在の本質に突き当たらざるをえないのではあるまいか。

現に、親鸞は「愚禿」、明恵は「瓦礫」と自称し、良寛はその晩年、かなりの数の色紙に「養痴」という二字を揮毫しているが、欧米の、いわゆるヒューマニズムという建前は、その実、差別され、序列化された万物がピラミッド型に積み上げられた頂点に、「万能の神のしもべ」としての「つまり、「万物の霊長」としての人間が君臨している。

ところが、芭蕉に代表されるわが国の俳人、や文人の世界認識は、そうではない。われわれ人間も、ひとしく「造化」という巨大な母胎から生み出された生命として、他の民族はいくらまでもなく、動物や植物、鉱物などとも何の変りもない。それぞれの外観や生態こそ千差万別であれ、巨大な「造化」という時空にくらべれば、いずれも極微な塵泥のような存在という点ではまったく相ひとしい。

しかし、芭蕉が「さびしさをあるじなるべし」(『嵯峨日記』)と言い遺しているように、われわれがわれわれの孤独で愚鈍で滑稽な実存の真相を徹底的に自覚すれば、やがてはこの巨大で無限定な「造化」の世界も、われわれを含めた極微な存在とその運動によって成立しているということに気がつく時がくるだけではない。

邦楽の世界では、客と演者の陶醉が一致して最高潮に達した時のことを「サワリ」というそうだが、ちょうどその「サワリ」の一瞬を思わせるような、なにか自分の素手で「造化」の機微に触れることができてもしたような、目ざましい瞬間がおとずれしてくると同時に、「さびしきさあるじ」とした真の自立のあかしとして、その消えやすい「サワリ」の瞬間を、わが国の生民の心性に根ざした工夫と方法によってなんとか形象化し、不易化したいという志向が勃然と芽ばえてくる。

すなわち、その極大と極小を媒介する象徴としての表現が、あるいは芭蕉における俳諧であり、あるいは西行における和歌であり、あるいは利休における茶であり、芭蕉はそれらを買っている「造化」への畏敬と畏怖の念を買道するもの「一なり」といったのであろう。それでは、欧米で「造化」に相当する言葉は

何かといえは、自然である。ただし、その自然は「万能の神」によって創られたものだから、「万物の霊長」としての人間が「み心のままに」といえばきこえはいいが、その実、自分の欲望をみたすためにほしいままにいじくりまわしても少しもかまわない。後に資本主義の鬼子としてのマルクス主義者が、世界史上はじめた公然と「自然改造」と言いだしたのも、そういう欧米の近代人に潜在していた自己中心的な意識が、ついに臨界点を超えて社会の表面に噴き出したのだ、といっても過言ではない。

しかし、俳諧の源泉としての「造化」には、そんな傲慢な契機は微塵もない。周知の通り、その自然改造思想が生みだした観光ブームにおかされるまでの日本人にとっては山は神であった。また、「造化」とはその山や川を含む生きとし生けるものを生みだした巨大な「母胎」であり、「原始、女性は太陽であった」という言葉は、そのミニチュアが古代人にとっての女性だったことを意味しているように、私には思われる。

そこで、最後にもう一度強調しておきたいのだが、欧米やアラブ世界の宗教の大半は、絶対化された唯一神を頂いている。だから、それぞれの信者の信仰が深まれば深まるほど、自己とその宗教を絶対化し、実体化するだけでは

ない。そういう宗教と宗教が対立すれば、必ずその戒律に反して戦いあい、殺しあう。たとえば、中世のヨーロッパにおける百年戦争のように、あるいは現在のイラク戦争のように、である。

これに反して俳諧が頂いているもの、というよりもその原郷は、芭蕉が示唆している意味での「造化」である。だから、原理的に権力と争うようなことはありえず、またいかなる権力に対しても、媚びず、同せず、へつらわらない。つまり、非戦でも反戦でもなく、不戦だから、不敗なのである。

そういえば、平成十二年末の本紙の報道によれば、全国に点在する芭蕉の塚や句碑の数は、今や三千五百五十一基の多きに及ぶという。だとすれば、これはもはや単なる民俗問題ではなく、すでに文化問題であり、思想問題でもある。なぜなら、独裁的あるいは宗教的偶像化と似て非なるこの事実は、単に他に類例を見いだしたいだけではない。鎌倉幕府の創建以来、「権力対権力」という図式から超出してきたわが国の無名の生民の、ほとんど本能的ともいうべき当為にほかならないからである。

私は憲法九条には、そういう不戦の心が宿っている、と考えている。

F

UKUSHO BRASS SPRING CONCERT

母校の吹奏楽部スプリングコンサート開く

～ティンパニー購入に福商会も支援～

母校の吹奏楽部が3月26日の午後4時から福岡市立中央市民センターでスプリングコンサートを開催しました。開催目的は老朽化しているティンパニーを購入する支援として、福商会がバックアップを行い、福商会会員、保護者の皆様に広く呼びかけ実現したものです。当日は福商(福翔)同窓、吹奏楽部OB他の皆さんが生徒たちの演奏に感動し、惜しみない拍手が続いていました。最後に全員で校歌を歌い1時間30分の演奏会を終えました。また、募金を呼びかけましたところ、福商会員を始め、学校関係者の皆様から408,965円の募金が集まりました。楽器購入の一部として使用させていただきます。誌面をお借りして心より厚くお礼申し上げます。



■ 山口理事長の挨拶



■ 段校長の挨拶



■ 募金する福商会会員



ティンパニー



▲西日本新聞に掲載された山岳写真

西日本新聞の二面に亘り山岳写真掲載
**「心のよりどころ
 巡礼のように足を運び」**

2月3日の西日本新聞の朝刊に山口聳さんが撮られた山岳写真7点が「心のよりどころ巡礼のように足を運び」のタイトルで2面にわたって掲載されました。学生時代、山登りの傍らスケッチ代わりにカメラを手にしたのが写真を始めるきっかけとなったそうです。日本の山は勿論世界の山々を撮り続けています。これからのますますのご活躍を祈念いたします。



Profile

山口 聳さん(49回生)
 福岡市美術連盟会員
 日本山岳写真協会会員
 日本アマチュア秀作
 美術館収蔵作家



福商会からのお知らせ

福商会報配布の見直しについて



会員皆様からの会費納入の現状は、現会員約24,000名のうち、約2,500名の方からの納入となっております。現在、福商会報を12,000名の会員の皆様に配布しておりますが、今回諸般の事情から下記内容で会報を配布させていただきます。何卒、事情ご賢察くださいますようお願い申し上げます。

会報配布の対象会員

年会費を納めていただいている会員へ配布いたします。

福商会報配布月 1月、5月、9月 年3回

年会費を納められた方は以下の通りで受け付けております。

- (例) ●平成18年3月迄に会費を納めた会員 → 平成17年度分年会費として受付
 - 平成18年4月以降に会費を納めた会員 → 平成18年度分年会費として受付
 - 平成18年3月迄に10,000円(5年間分) → 平成17年度～21年度分会費として受付
- なお、納入年度のご確認のため、年初の1月号にお名前を「会費納入者欄」に掲載しております。

新しい配布は次号9月号からといたします。

会費の運用について

会員の皆様から納めて頂いた会費は、会報配布、母校奨学金として奨学生への支給や体育部奨励金の寄付など、有益に運用させていただいております。これからも福商会を更に発展させ、母校への支援も積極的に推進したいと考えております。会費納入のご協力をよろしく願いいたします。

個人情報保護方針

昨年4月からの個人情報保護法の施行に伴い、福商会も個人情報保護方針を制定しましたのでご案内します。



社団法人福商会は会員皆様の個人情報の取得、保管、または利用するにあたり、個人情報管理の社会的重要性を認識し、会員皆様の個人の権利、利益及びプライバシーを侵害することのないよう努めてまいります。

- 1 個人情報を取り扱う管理責任者を置き、適切な管理を行います。
- 2 個人情報を収集(氏名、住所、連絡先、電話、卒業年度など)する場合は、収集目的を明確にし、適法かつ公正な手段をもって収集し、利用目的及び管理方法を具体的に提示します。
- 3 個人情報の利用に際しては、次に掲げる目的にのみ利用します。ただし、本人の同意があるときや法令の定めがあるときはこの限りではありません。
 - (1) 会報などをはじめとする案内文書、関係資料の送付。
 - (2) 会報作成など、広報活動に関する連絡。
 - (3) 福商会が主催する各種行事、事業関係に関する連絡。
 - (4) 会員同士の会合の開催、運営のための主催者等への情報提供。(各支部同窓会、学年同窓会、クラス会など)
 - (5) その他福商会理事長が必要と認めた適正な活動。
- 4 個人情報の管理については、会員皆様の個人情報の保護に努め、紛失、漏洩、破壊、不正アクセスなどに安全対策を講じます。
- 5 個人情報の処理を外部に委託する場合は、当会の厳正な管理のもとで行います。

お問い合わせ

福商会事務局 TEL 092-711-9890

会費納入者

平成17年12月から
平成18年3月末までの納入の方です。

17年度

- 平山 一男 江頭 義夫 飯尾 寛 永光 忠鑑 小出 敏夫 中野 哲夫 上野 運 富田 晋作 柴田 正幸 古賀 健次 宗 茂次 濱崎吉三郎 倉富 昭正 四宮 豊司 遠藤基太郎 平野 耕作 篠原 重明 波多江順治 藤野 光枝 篠田 茂人 原田 茂子 阿刀 寛明 幸若 久義 新原 茂美 鳥巢 義夫 石橋美枝子 丸橋 隆 中川九州男 堀 季雄 松尾 隆 和佐 恵子 桜田 茂子 大塚 重敏 篠崎 英二 中嶋 良人 山下善一郎 伊勢田俊徳 森本 繁 山口 英治 酒井 俊寿 藤田 正彦 齊田 武典 八坂 貴輔 富永 泰輔 三橋 國博

- 安武 真明 加月脩二郎 岩隈 孝彦 高田 利治 小金丸英夫 小長光登美子 坂井 貞雄 上野 賢助 水田 勝敏 北 嘉与子 東野 勝江 松本 良平 前田 嘉彦 中村三男 大隈 英夫 堤 隆夫 入江 清仁 藤野 達也 小柳 清 讀井 勝美 平田 文枝 江口 稔子 貴道マユミ 藤野 恵之 前原 宏昭 榑木 増利 小寺紀佐武 多田 靖彦 川淵 篤 岩崎 千代 海崎 俊子 佐藤 信子 竹田 初恵 新庄 貞弘 北垣継一郎 柴田 直子 安部喜美子 福田 洋子 荒尾 元子 黒岩 友子 黒田 洋子 福田 洋子 安部喜美子 柴田 直子 新庄 貞弘 竹田 初恵 佐藤 信子 海崎 俊子 堀 季雄 松尾 隆 和佐 恵子 桜田 茂子 大塚 重敏 篠崎 英二 中嶋 良人 山下善一郎 伊勢田俊徳 森本 繁 山口 英治 酒井 俊寿 藤田 正彦 齊田 武典 八坂 貴輔 富永 泰輔 三橋 國博

- 穴見 保子 久家 貞子 讀井 房子 山本 恭子 山本 恭子 平嶋 貴美子 川嶋 慧子 佐々木雅枝 江口 弘子 南川 恵津子 山之内千恵子 益井 健 阿部 武次 小笹 英臣 浜本 政明 神野 正伸 畑野 行子 松野 泰美 嶋田 末江 阿部 利美 柳ヶ水賢治 安達 新吾 手島 善子 松谷 絹子 武末 愛子 永嶋 功恵 室井 寿子 洲上日出行 青谷 孝夫 明永 義光 本田 徳治 太田伊佐夫 田島 節雄 飯田 利明 永田 喜美子 小島 芳江 貞光美奈子 浅岡登紀子 井上 光子 山田 伸江 門倉 幸子 前川 博行 表野 則幸 安河内敬一 坂井由紀子 新開カツ子

- 土居タツ子 関 強子 柿木恵美子 梅津美津代 藤永 篤司 藤 志麻子 渡辺 幸 園田みどり 光安 順子 宿輪 直子 久野 啓子 小川 眞悟 中川 真悟 松本 美夫 神武 治城 中川 三枝子 大辻知恵子 根本しのぶ 河野はる美 柳ヶ水賢治 安達 新吾 手島 善子 松谷 絹子 武末 愛子 永嶋 功恵 室井 寿子 洲上日出行 青谷 孝夫 明永 義光 本田 徳治 太田伊佐夫 田島 節雄 飯田 利明 永田 喜美子 小島 芳江 貞光美奈子 浅岡登紀子 井上 光子 山田 伸江 門倉 幸子 前川 博行 表野 則幸 安河内敬一 坂井由紀子 新開カツ子

- 田中美那子 新本 洋子 堺 恵子 山口 新治 原田 恵子 高橋 謙二 井上 吾朗 高木 隆博 南 康子 森 美子 野田さとみ 石蔵布佐子 小林 正勝 田中みゆき 田中 敦子 結方富志子 関 悟 浅野 尚子 栗原 巧充 佐野 洋子 一木 弥生 中原 郁子 片岡 潤一 松岡 昌也 松尾 昌也 光安 忠幸 岩崎 隆弘 濱川 直子 世良 福子 藤本 浩吉 高田 稔 高田 稔 毎熊 正幸 築地 久六 清成 厚美 飯田 純里 長野 俊雄 石井 幸美 本田 幸彦 高木美紀子 高橋 妙子 蛭川千香子 二俣恵美子 小林 恵子 平田美代子 平木紀美子 菊井 清近 堀竹 恭子 加納 厚子

- 篠原 祥泰 佐々木忠雄 今林 與吉 城戸 長蔵 池見 研一 山本 文蔵 大山安太郎 三島 啓介 高崎 次郎 谷口 寅雄 高田 吉人 松本 嘉雄 中島 勘助 鳥山 昇 松本 嘉雄 大村 茂男 岡崎 武典 藤村 菊雄 篠原健次郎 本村 武典 岡崎 照輝 高松 忠 権丈 忠 連井 利春 早川 清風 濱田 寛二 橋本 寛二 平島 義夫 藤野 啓介 松島 恒雄 山口 眞吾 川本 義男 袁原順一郎 天野 廣保 今石貞二郎 印 正司 内富 清 江島 俊助 岡松 太郎 日下部礼蔵 古池 達也 篠原 郁夫 柴田 幸夫 鷺見 藤司 関 藤一 庄山 雅敏 田代 成美 鈴木 友文 諏訪 健 吉田敬之助 荒井 昌夫 中牟田義重 渡辺 寿夫

長期納入者
18年度まで

- 原 大三 上田宗一郎 橋本 好博 田中 範隆 平木 敏雄 藤井 昇 吉村 内 安河内 静夫 花田 静夫 許山 岩門 渡邊 博 林 敏治 大戸 敏弘 吉田 幸男 有吉 幸男 篠原健次郎 本村 武典 岡崎 照輝 高松 忠 権丈 忠 連井 利春 早川 清風 濱田 寛二 橋本 寛二 平島 義夫 藤野 啓介 松島 恒雄 山口 眞吾 川本 義男 袁原順一郎 天野 廣保 今石貞二郎 印 正司 内富 清 江島 俊助 岡松 太郎 日下部礼蔵 古池 達也 篠原 郁夫 柴田 幸夫 鷺見 藤司 関 藤一 庄山 雅敏 田代 成美 鈴木 友文 諏訪 健 吉田敬之助 荒井 昌夫 中牟田義重 渡辺 寿夫

- 田中 正博 山内 貞美 安恒 秀幸 渡辺 伸幸 西嶋三七男 荒川 富雄 古藤 清男 高城 次男 門松 直城 比良松 義助 堀 照馬 小島 清 平野 清 柴島 重吉 松島 重吉 西頭 光次 西嶋 功 岡崎 保登 津田 達昭 中村 喜海 村上 正男 大平美智子 石松 久子 江藤 信子 内堀美恵子 山口 芳江 山内 謙二 空閑 謙二 香月 清 藤井 信義 進藤 利雄 江崎 要一 波瀬 義和 中村 順二 山野 義勝 矢野 義勝 石橋 幸二 染川 輝義 清松美智子 岡村美智子 中村 幸子 西村 敏雄 木村 公英 森田 昌直 西田 豊喜 森山 昌直 平田 昌直 吉安 信哲 秋山 信 小西 廣和 白垣 知己

- 川嶋 正賢 岡田 和則 太田 和代 山下ケイコ 堀 弘子 藤崎 繁 宮田 信 北尾 啓介 大内田憲三 板谷 博孝 池 頼利 渡辺 桂 三枝 雄輔 河井 雄輔 有吉 紀子 牛房 紀子 吉田 美子 久芳 時弘 田中 正弘 前田 宏紀 中村 正和 伊東 正宏 阿部 哲也 児玉順之助 松永 恵子 樋口 敏子 樋口 敏子 藤坂ヒロコ 中野 征邦 久我 一郎 田中喜一郎 堤 悟徹 山本 徹 菅 徹 小久保勝昭 萩原 孝昭 萩原 晋一 山下 次郎 山下 晋一 吉村 和江 吉村 芳政 川口 直子 西村 直子 角倉 健司 天野 重瑠 山根 建次 秦 芳宣 今長谷 豊 篠隈 素 宮本 政則 池田 和彦

- 松崎 勝己 本村トミ子 入江 照美 山田 照美 中村由美子 下田ヒロ子 高田奈津江 大内田静子 小島 啓子 山本 淳祐 鳥井 正義 力丸 正 成吉 幸一 小谷 武司 田中 國昭 田坂 淑子 高橋 愛子 豊嶋 昌代 藤木マサコ 古野ヨネ子 久保 初雄 小西日出子 天野 勝 松島 輝男 大賀 孝徳 三苦 清 越智 英之 加隈 孝明 三原 敏男 長尾 末雄 後藤 和弘 青木 義晴 阿部 義美 光安 秀子 藤井 絢子 藤井 正行 長野 哲也 安河内 哲好 清水 勝人 森 彬 熊本 嘉信 白木 英治 松浦 豊喜 進 九三郎 岡本 光史 川添 隆司 井上三枝子 船越 弘子 森 敏子 中馬 勝子 中山 和子 國崎 一史

- 明石 輝男 鳥飼 照美 山口 照美 山田美智子 大里那華子 和氣 慎子 川波美智子 山口 和子 未安鴻一郎 磯田 一徳 草場 栄治 江崎 征二 福井 圭佐 栗山 茂 吉田 茂 今林 淳次 白石 寛嗣 鍋田紀世次 小川 豊子 角倉伊津子 阿部 豊子 乾 日出子 安部美智子 小手川伊津子 富永恵美子 森永恒次郎 松本 泰助 藤松 英昭 山川 嘉信 山本 誠 平尾 和雄 樋口 信夫 橋本 信夫 高野 忠義 中嶋 保弘 朝倉下ミ子 樋口千鶴子 高野 芳子 金城日出子 西谷 敏子 竹本 幸子 平島 和也 中西 英輝 山本 剛一 荻野 明男 榑崎美恵子 古賀 豊子 國崎 美智子 万野 勝徳 篠崎 照 井上 清 川鍋 正行

- 78 植橋ゆかり
77 米倉厚子
76 尾崎裕光
75 手島眞理子
74 白石果奈子
73 松永一人
72 船越幸則
71 築後合幸則
70 時枝眞子
69 有澤弘子
68 神宮玄二郎
67 吉良富嗣子
66 白岩富嗣子
65 角桂子
64 安部雪江
63 松本千代子
62 松本武敏
61 谷永武敏
60 榑直幸
59 榑直幸
58 榑直幸
57 榑直幸
56 榑直幸
55 榑直幸
54 榑直幸
53 榑直幸
52 榑直幸
51 榑直幸
50 榑直幸
49 榑直幸
48 榑直幸
47 榑直幸
46 榑直幸
45 榑直幸
44 榑直幸
43 榑直幸
42 榑直幸
41 榑直幸
40 榑直幸
39 榑直幸
38 榑直幸
37 榑直幸
36 榑直幸
35 榑直幸
34 榑直幸
33 榑直幸
32 榑直幸
31 榑直幸
30 榑直幸
29 榑直幸
28 榑直幸
27 榑直幸
26 榑直幸
25 榑直幸
24 榑直幸
23 榑直幸
22 榑直幸
21 榑直幸
20 榑直幸
19 榑直幸
18 榑直幸
17 榑直幸
16 榑直幸
15 榑直幸
14 榑直幸
13 榑直幸
12 榑直幸
11 榑直幸
10 榑直幸
9 榑直幸
8 榑直幸
7 榑直幸
6 榑直幸
5 榑直幸
4 榑直幸
3 榑直幸
2 榑直幸
1 榑直幸

卒業回生別会費納入者数一覧表

卒業回数	17年度	前年度	卒業回数	17年度	前年度
21~30	33	37	70	34	88
31	16	18	71	14	14
32	18	19	72	15	9
33	17	18	73	14	11
34	10	13	74	7	11
35	40	50	75	22	13
36	17	18	76	10	7
37	29	30	77	14	13
38	34	34	78	15	7
39	45	47	79	27	25
40	45	51	80	27	24
41	46	45	81	10	10
42	52	44	82	17	16
43	47	43	83	5	3
44~45	77	80	84	5	7
46~47	67	66	85	7	10
48	33	37	86	11	10
49	22	22	87	6	7
50	71	76	88	6	8
51	52	75	89	8	6
52	96	90	90	5	9
53	77	60	91	2	3
54	81	74	92	2	1
55	95	91	93	1	4
56	92	74	94	3	3
57	72	68	95	4	5
58	37	83	96	4	4
59	97	98	97	2	4
60	63	64	98	1	1
61	64	51	99	1	5
62	60	61	100	1	1
63	90	50	101	7	4
64	52	37	102	19	312
65	38	28	103	313	
66	34	29	併中1	0	0
67	47	39	別1~別15	15	13
68	32	31	定1~定43	18	14
69	27	27	合計	2,682	2,590

(平成18年3月31日現在)

- 19年度まで
20年度まで
21年度まで
22年度まで
23年度まで
24年度まで
25年度まで
26年度まで
27年度まで
28年度まで
29年度まで
31年度まで
41年度まで
- 物故者名(前号より4月まで)
24 池見 武男 (H17) 9
23 溝口 卯助 (H17) 6
22 松尾金之助 (H17) 26
21 都倉 朝雄 (H17) 22
20 内野 義助 (H17) 22
19 長尾 朝雄 (H17) 22
18 宮川 義助 (H17) 22
17 竹原 朝雄 (H17) 22
16 奥田 朝雄 (H17) 22
15 白木 朝雄 (H17) 22
14 村田 朝雄 (H17) 22
13 長尾 朝雄 (H17) 22
12 長尾 朝雄 (H17) 22
11 長尾 朝雄 (H17) 22
10 長尾 朝雄 (H17) 22
9 長尾 朝雄 (H17) 22
8 長尾 朝雄 (H17) 22
7 長尾 朝雄 (H17) 22
6 長尾 朝雄 (H17) 22
5 長尾 朝雄 (H17) 22
4 長尾 朝雄 (H17) 22
3 長尾 朝雄 (H17) 22
2 長尾 朝雄 (H17) 22
1 長尾 朝雄 (H17) 22

会員の皆様のご協力に対し深く感謝し、厚くお礼申し上げます。
会費は母校への奨学金給付、体育部長助金の寄付等有益に運用させていただいております。
これからも年会費の納入についてご協力賜りますようお願い申し上げます。
なお会費納入のお願いを会報発行時に毎回お届けしておりますが、既に納入済みの方はご容赦下さい。

元氣印の企業紹介 GENKICOMPANYvol.5



～基本は人と人とのふれあいです～

Yoshikin Co., Ltd.
ジュエリー ヨシキン



吉田 康一さん (69回生) ●(社)日本ジュエリー協会会員 ●福岡貿易会会員
●全国宝石学協会会員 ●福岡名店百選会会員

今回の「元氣印の会社」は、福岡市南区大橋で(株)ジュエリーヨシキンの代表取締役として活躍されている吉田康一氏(69回生)です。吉田君は剣道への熱い思いを抱き母校への進学を決意したそうです。在学中の成績は大きなものこそなかったようですが、福商剣道部で培った「最後まであきらめない」ことが氏の根幹に大きな影響を与えていることは幾多と重ねてきた氏との会話の中で強く感じるところです。

当時社会問題となっていた水俣病を即座に取り上げ、仲間数名で現地を調査し、現実を見て衝撃を受け、文化祭ブースで発表し、患者の入院している病院から感謝状を頂いたというも一つの一面もありました。

卒業後、会社に勤め、営業マンとして東京や広島などで実績を上げ、15年前に「吉田が勤勉に働けば必ず想いは遂げられる」という熱い思いで「ヨシキン」という社名を決め、独立しました。

その信念のとおり、九州・東京を中心に、ひとりで朝早くから深夜まで働く日々を経て、今に至っています。

ヨシキンでは、ドイツ、イタリア、オーストリアなどから輸入した商品も取り扱っています。中には商品というより芸術作品と呼んだ方がふさわしいものもあります。

今、氏が力を入れていることは人脈を活かして、中野武氏をはじめとする専属デザイナーとお客様とのコラボレーションによる一点物のジュエリーの創作です。

お客様と対話しながら、その思いとこだわりを形にしていきます。たった一つの作品を作っていく過程に参加する喜びと、それを身につける二重の喜びを味わうこと。お客様には損をさせないという信念が、元気で伸びている秘訣だと感じました。

氏は今日も自らを「大橋の小商人」と称し、九州・山口・東京を飛び回る毎日です。小さなものから大きなものまで「ストーリー



ジュエリー リガード
■山口市中央2-6-19 金子ビル1F
tel/fax.083-932-7505



ジュエリー ヨシキン
■福岡市南区大橋3-3-14 古賀ビル2F
tel.092-511-9228

※中野 武 ●プロフィール
東京芸術大学美術学部工芸科を卒業し、大学院に入学。安宅賞受賞。パリ遊学。以後三菱商事他、大手企業の商品開発を手掛ける。
大阪デザインセンター年間最優秀賞受賞。
中小企業庁長官特別賞受賞(二回)。
平成二年より秋篠宮妃妃子殿下の装身具のデザイン製作を承る。

が「ストーリーへ」と念じ、社員ともども接客しているそうです。宝石の仕事をして「お客様の輝く瞬間のお手伝い」が出来ること、大きな喜びでもあると熱く語ってくれました。いつか私も吉田君から妻に購入したいと、そんなことを考えてしまふこの頃です。
善生 喜利(69回生)

第37回 福商会ゴルフ大会のお知らせ

- 日 時 2006年9月26日(火)
- 場 所 ザ・クィーンズヒル ゴルフクラブ
前原市大字富838番地
TEL092-324-5333

問い合わせ先 福商会事務局まで
TEL092-711-9890

※昨年まで5月に開催をしていましたが、今年から9月に変更して実施いたします。

福商 福翔 バレーボール部OB会 総会開催のお知らせ
* 男子部 創部80周年・女子部 創部60周年 *

全国大会準優勝を始め、幾度かの黄金期の歴史を持ち、また全日本のエースや、名選手を輩出したバレー部の男女合同記念大会を下記の通り行います。皆さん、多数ご参加ください。

- 日 時 2006年10月29日(日)午後1時
- 場 所 セレナーデ
(福岡市中央区桜坂 TEL092-715-0080)
オーナー 舘井勝美 (株)サヌイ織物社長(56回生バレー部)
- 会 費 5,000円(但し学生及び20歳以下は3,000円)

問い合わせ先 幹事 宮崎 陽一(56回生)

NETWORK SYSTEM REMIX Co.,Ltd
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

株式会社 エヌ・エス・エックス

コンピュータネットワークシステム開発事業 代表取締役 跡部 宗教 (79回生)
ホームページ制作・研修・コンサルティング ATOBE MUNENORI
ホスティングサービス・レンタルサーバーサービス
インターネット・WEBカメラ 福岡市博多区博多駅前3丁目29-21 貝真ビル2F
Total Support Of Computing TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

ビューティ・ビジネスの未来を創る。
株式会社 ダリヤ

代表取締役会長
高木 不二男 (60回生)
TAKAKI FUJIO

〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4-3-25
TEL 092-472-3035 FAX 092-472-2347
E-mail:f.takaki@net.email.ne.jp
http://www.mmj.jp/orj/dariya

LAWSON
ローソン中洲大通り店

代表 **藤野吉信** (63回生)
福岡市博多区中洲4-7-21
TEL (092) 281-1885

「うまい!」うれしいお礼のことは
きっと印象に残ります……………

味のめんたい 福太郎

代表取締役 **山口 毅** (52回生)

■配送センター・工場
〒815-0001 福岡市南区五十川1-1-1 電話(092)475-7777

中華料理
和食
海鮮料理

八仙閣

相談役 **増田 稔** (59回生)

福岡市博多区博多駅前2丁目7-7
電話(092)411-4141番

総合建設業一級建築士事務所

株式会社 五成建業

会長 **安河内 馨** (46回生)

東京都世田谷区上馬4の13の19
TEL 03(3418)8151(代)
FAX 03(3424)9418

株式会社 堀江本店

相談役 **堀江 武** (52回生)
代表取締役社長 **堀江 徹** (75回生)

〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目14-41
TEL (092) 503-0121(代)
FAX (092) 504-1219

広告代理店

株式会社 春潮社

取締役社長 **古川 淳二** (63回生)

福岡市博多区千代4-29-12
電話(代表)641-1031番

線香・ローソク・お香・広告マッチ

株式会社 中島晴薫堂

代表取締役会長 **中島 勝敏** (55回生)

〒812-0044
福岡市博多区千代4-8-19 TEL092-651-0441 FAX092-651-0449
〒854-0055
長崎営業所 諫早市栗面町288番地305号 TEL-FAX0957-21-0675

工業用テーブ
包装テーブ
梱包機・梱包資材
 Cuttingテープ
カット絵文字制作

福岡テーブ株式会社

代表取締役 **糸永 清二** (55回生)

福岡市博多区博多駅前2-16-10
TEL 092-411-3929(代)

imai PRINTING

代表取締役社長 **今井 勝彦** (57回生)

今井印刷株式会社

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目2番18号
TEL 092-781-5492 FAX 092-781-5613

躍進する 総合建設業・木材業
柏屋グループ 不動産業・アバマン柏屋店

一級建築士事務所

柏屋殖産株式会社

代表取締役会長 **篠原 隆義** (54回生)

本社 柏屋郡柏屋町大字仲原2525
電話(代表)621-1331番

有限会社

エステート平野

代表取締役 **平野 俊一** (46回生)

〒812-0007 福岡市博多区東比恵2丁目11番8号
TEL (092) 431-5616

紙与産業株式会社
紙与不動産株式会社

代表取締役会長 **渡邊 與三郎** (39回生)

福岡市中央区天神1丁目12の14号
電話(092)721-4531番

環境にやさしい製品作りをめざしています

印刷のご用命は **nip 株式会社 ナガシマ**
ISO14001認証取得

代表取締役 **永島 光雄** (55回生)
笠木 雄二 (65回生)
本村 智彦 (82回生)

福岡市博多区豊1丁目9-18TEL482 7751代 FAX482 7734

伝えたい・残したい物があるとき
一冊の本にしてみませんか!!
お気軽にお電話下さい。

正光印刷株式会社

藤村 みつひ (53回生)

営業所/福岡市中央区赤坂1丁目3番7号
PHONE:(092)741-3266

福岡文化ライオンズ

荒巻 和子 (55回生)
(故) **荒巻 信芳** (53回生)

〒810-0063 福岡市中央区唐人町2-6-9

PROFESSIONAL by
Uratsuka PRO.
www.urapro.jp

代表 **浦塚 健二** (89回生)

本社:〒816-0862 福岡県春日市弥生4丁目61-1
TEL/092-584-8057 FAX/092-584-8079
e-mail/info@urapro.jp
☎ 0120-100-822

営業所 福岡営業所/熊本営業所/大分営業所

温泉 湯力禅 本店 馬場

ホテル 楠水閣 湯力禅
WAKITA SPA HOTEL NANSUIKAKU YU NO ZEN

〒822-0133
福岡県鞍手郡若宮町脇田
TEL 0949-54-0123(代)/FAX 0949-54-0198

野口 嘉孝 (73回生)

博多人形・博多織・久留米絨

増屋

取締役相談役 **田中 寛** (40回生)
取締役 **高崎 隆** (43回生)

川端本店/博多区上川端商店街 TEL092(281)0083
支店/天神地下街・博多駅名店街店・
モスバーガー・薬院店・赤坂店

～玄海の磯の香をそのまま直選～

魚村 壽司魚村

福岡市中央区大名1-1-45 天神西通り 魚村ビル
☎(092)781-7388

福岡市中央区天神2-4-19 天神西通り 第3ライオンビル1F
☎(092)711-1182

代表取締役 **日野 孝治** (77回生)

順不同

母校の生徒 たちが来館

～英語弁論大会、
演劇部門で優秀賞
受賞を報告～

3月23、27日に母校の生徒達が段校長他先生方と来館されました。

島田恵さん(2年)は昨年12月に開かれた「第31回英語弁論大会」で見事、優秀賞に輝きニュージーランド・オークランド賞に選ばれ、ニュージーランドへの旅行が決まったことから報告にきたものです。また、藤井絵里演劇部長他9名の演劇部の皆さんは、九州高等学校演劇研究大会で最優秀賞(文部科学大臣奨励賞)及び創作脚本賞を受賞し、8月に京都府八幡市で行われる全国高等学校総合文化祭演劇部門に出場することになり訪問したものです。

各分野で活躍している生徒たちの健闘を祈ります。



奨学育英基金に寄付 (56回生同窓会)

3月28日、56回生の今井英喜理事、鳥井正義氏、長谷川幸子氏が来館されました。2月25日に開かれた56回生合同同窓会で奨学育英基金カンパを行い持参されたものです。皆様の心温まるご厚情に深く感謝申し上げます。



●卒業50周年を記念して・・・53回生

「奨学育英基金」へ百万円寄付

卒業50周年を記念して、4月10日に53回生を代表し、阿野肇草実行委員長、添田満夫副実行委員長、本田栄一代議員、藤村みつの理事、岡部真弓さんが来館され「奨学育英基金」に、百万円を持参されました。53回生の皆様の母校への深い愛情と心温まるご厚情に深く感謝申し上げます。当日は理事会が開催されており、理事の皆様からも感謝の言葉が述べられておりました。皆様のご健勝を心から祈念申し上げ、重ねてお礼申し上げます。



我々53回生は卒業(昭和30年)50周年記念事業として、諸先輩の伝統行事に習い、8クラス幹事一致協力のもと、母校奨学育英基金の募集を行いました。3月末日迄に下記同輩より賛同を得、寄付金合計百万円を福商會に寄付致しました。ご協力頂いた方は次の通りです。

安達 健 阿野 肇草 有馬 輝一郎 石津 英之 石橋 康平 市川 正一 (故)市川 莞爾 伊東 正宏 井上 順子
井上 雅彦 浦正明 大石 忠生 大村 知子 岡部 真弓 御幡 昌弘 鹿兒島 史浪 樺田 康義 上岡 清彦
古賀 秀治 小島 シゲ子 児玉 順之助 小早川 洋 木桶 敏子 酒井 俊寿 佐藤 毅彦 篠崎 研次 柴田 清治
白石 誠一 (故)菅 輝夫 添田 満夫 園田 尚徳 高田 鉄男 高田 純子 竹林 道代 立野 恵美子 田中 武
田中 隆枝 津原 俊寛 豊嶋 良孝 土斐崎 節子 中村 正和 中山 熙江子 名武 代志子 難波 正徳 野原 伸之
花田 町子 浜田 輝義 原 昌子 日永田 カツエ 挽田 泰邦 樋口 敏子 平井 昌之 藤井 剛 藤田 玲
藤村 みつの 本田 栄一 丸山 弘子 宮崎 利明 村瀬 清蔵 村山 俊二 元吉 登美子 森川 孝弘 森本 繁
安西 晴 山崎 輝喜 山本 文子 行武 義江 吉岡 増 吉積 正弘 吉村 方伸 渡辺 芳泰 (別科5)堀 弘子
以上の方々にご協力頂き誠に有難う御座居ました。心よりお礼申し上げます。 実行委員長 阿野 肇草 (53回生)

記事に関するお問い合わせは福商會事務局へ

TEL.092-711-9890 FAX.092-711-9266

編集後記

* 今回の会報編集の途中で前田専務理事の急逝がありました。広報委員長であった前田君を失うことは、会報の編集に当っては大変な痛手でありました。前田君の後を継いで広報委員長として、会報の編集に携わることになり、大変な仕事と、責任の重さを痛感しております。しかし、広報委員の皆様方の今まで以上の努力精進により、このような立派な会報を会員の皆様にお送りすることが出来ました。ここに広報委員のお仕事に対し、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます。卒業生の皆様に福商會の理解、ご協力をいただく為に福商會報を読んでいただくのが何よりの方法だと考えております。今回の記事にもありますように、より効果的な会報配布に改めることになりました。願わくは全会員に会費を納入いただき、会報を配布出来ますならば最上の喜びです。現在は同窓会と母校福翔高校との絆も一段と強まってきております。卒業生として誇りを持てる母校へと育て、見守って行きたいと思っております。そのためにも会報を受け取られた皆様方から、同級生や職場、地域等において同窓生に会費のことや、全国合同同窓大会をはじめ種々の行事に参加いただきますよう、勤めていただきたいと思っております。皆様の投稿等により、なお一層親しみの持てる会報にしていきたい

と考えております。投稿をお待ちしております。
(後藤)
* 専務理事の前田福一氏が急逝されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。福商會の改革に先頭立って頑張っていただけに、残念でなりません。財政基盤の確立や母校の支援について、これからという時期に大きな柱を失い、心にボツカリと穴が開いた感じです。これからは故人がいつも言っていた「母校のため」「同窓のため」を胸に頑張っていきたいと思っております。

* 「福商縦の糸の会」も3回を数え、参加者も年々増え、先輩、後輩の絆がますます強まっていく光景を見るにつけ、福商(翔)同窓生としての誇りと、出会いの大切さを感じずにはいられません。会員の皆様も来年の「福商縦の糸の会」に是非ともご参加下さいませようお願い申し上げます。
* 福商會に新たな会員312名が入会しました。「福商會を知っている」「同窓會館を知っている」などの質問をしたところ、意外と知られていなくてショックでした。若い人達にも同窓會に関心をもってもらうためにも、積極的に情報発信を行い、気楽に同窓會館を利用できるよう努力していくつもりです。
(川瀧)

ご注意ください

最近、福商(福翔)の卒業生を名乗り、卒業生の自宅に電話をかけ、「携帯電話をなくして(壊して)しまったので誰か友達の連絡先を教えて欲しい」と尋ねてくる電話が多発しています。同窓生の皆様、卒業生を名乗る不審な電話にはご注意ください。